

しすい

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171
ホームページは「酒々井町議会」で検索してご覧ください

戦国時代のまつりが百余年の時を経て 復活

10月2日に「千葉氏まつり」が中央台公園で開かれ、町内外から約3500の方が訪れました。



平成27年度決算、歳入が過去最高額に・・・P2～P5

各常任委員会、本会議での審議結果・・・P6～P11

青少年交流の家や道路改良、治水対策など議員10名が町政を問う・・・P12～P17



歳出は民生費が8.9ポイント増に

9月定例会の概要

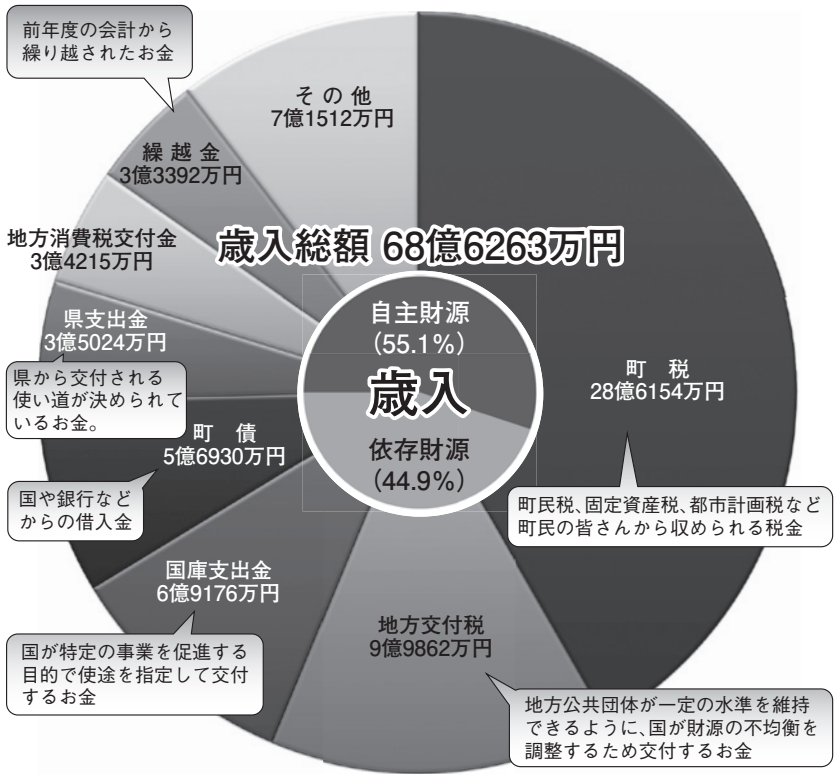
9月定例会は、9月6日から9月27日までの22日間の会期で開催されました。

町長から提案のあった条例の制定、各会計の決算認定、補正予算などの議案10件および議員より提案のあった発議案4件が提出され、それぞれ慎重に審議した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

また、町長から「一般会計予算継続費精算報告書について」などの報告が2件「酒々井・千葉氏まつりの開催について」などの行政報告が4件表明されました。

なお、各会計の決算については、議員6名からなる「決算審査特別委員会」を設置し、集中的に3日間審議を行いました。一般質問は10名の議員が2日間にわたり行い、地域振興、防犯・防災対策など、町政全般について町長や各課長に説明を求めました。

<歳入の概要>

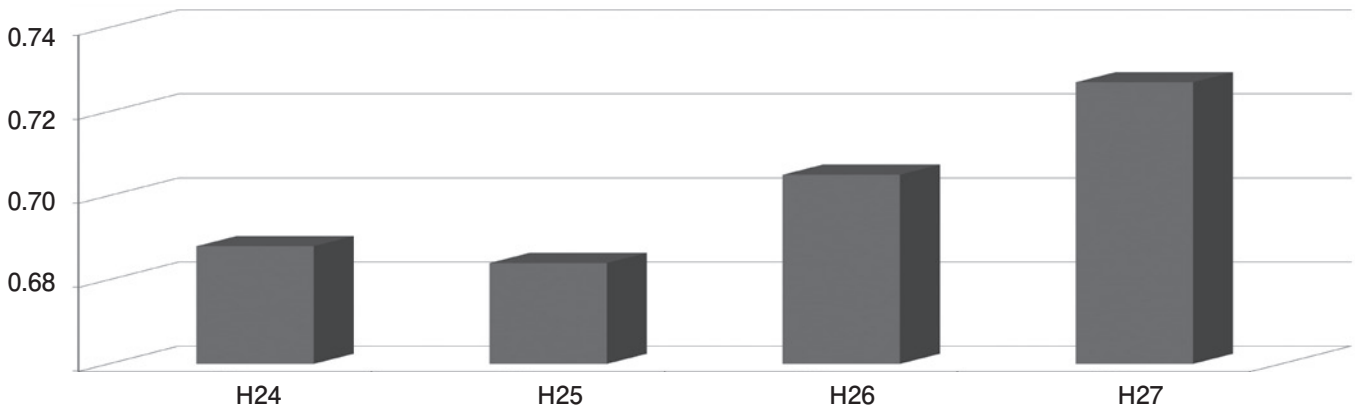


※千円単価は四捨五入しています。

町 税は、法人町民税、固定資産税などの増加により、前年度比6億149万円の増額、地方交付税は、震災復興特別交付税などの増加により、前年度比2億765万円の増額、国庫支出金は、防災・安全社会資本整備総合交付金などの増加により、前年度比3億762万円の増額、町債は、役場庁舎建設事業などの借入により、前年度比1億2050万円の増額となっています。

また、自主財源比率は、町税などの増加により、前年度比78.42%増額し、歳入構成比の55.1%となっています。

<財政力指数の推移>



※財政力指数とは、地方公共団体の財政力を示す数値で過去3年度の平均値です。数値が1に近いほど普通交付税算定上の留保財源が大きくなり、財源に余裕があるとされています。

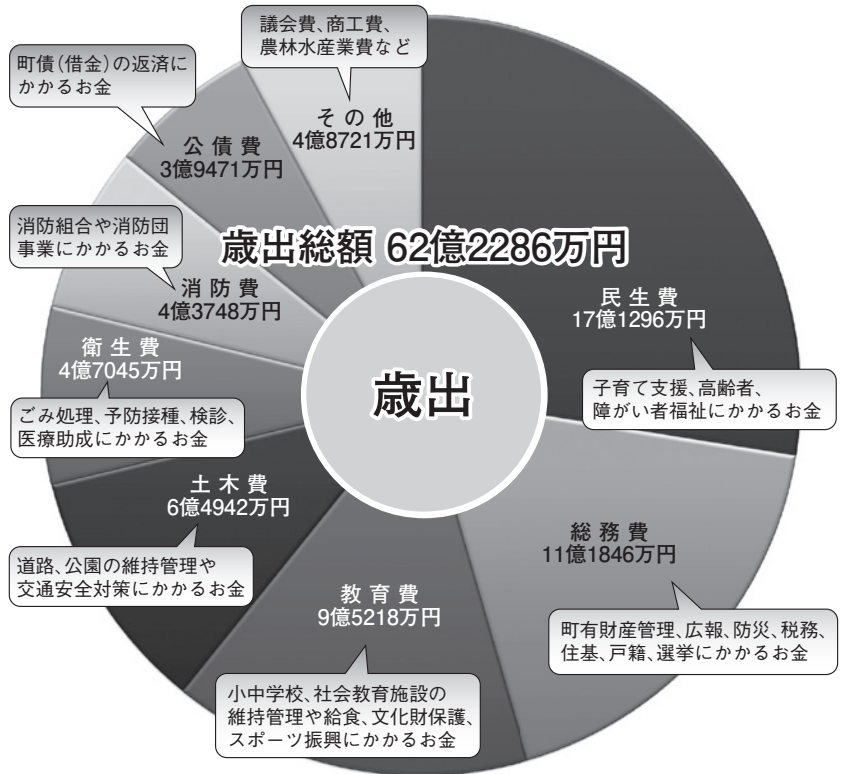
平成27年度決算

歳入総額過去最高額更新

固定資産税などの町税が増収し
 経常収支が**改善傾向**に

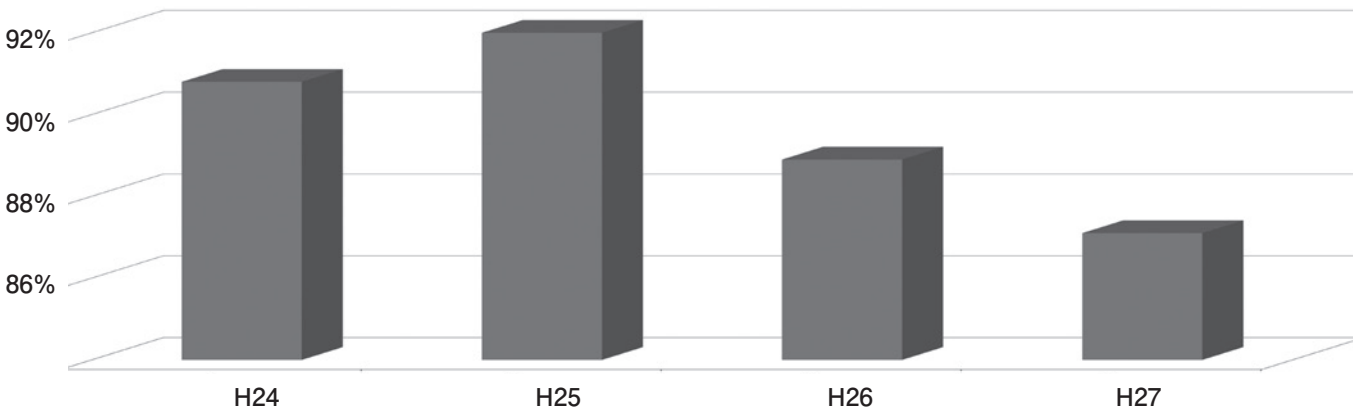
<歳出の概要>

民生費は、保育委託業務や地域福祉基金への積立金などにより、前年度比1億3939万円の増額、総務費は、役場分庁舎建設事業などにより、前年度比1億2995万円の増額、教育費は、中学校用地購入費や本佐倉城跡入口広場整備工事などにより、前年度比9201万円の増額、土木費は、社会資本総合交付金を活用した道路改良事業などの減少により、前年度比1億5745万円の減額、消防費は、消防組合への負担金が増額したことにより、前年度比251万円の増額となっています。



※千円単価は四捨五入しています。

<経常収支比率の推移>



※経常収支比率とは、財政構造の弾力性を判断する数値で人件費、扶助費、公債費の義務的性格の経常経費が町税、普通交付税などの経常的一般財源に占める割合です。数値が低いほどいろいろな事業に使えるお金に余裕があると言えます。

平成27年度決算に関する討論

私は賛成です

昨年引き続き、大変厳しい財政状況の中、日本経済と財政運営あるいは、地方財政等の動向を考慮しながら、「酒々井町人口ビジョン」および「酒々井町まち・ひと・しごと創生総合戦略 100年安心して住めるまちづくりプラン」を策定するなど総合計画に基づき実施計画の目標達成に向け、事業の投資効果および緊急性に十分配慮さ

事業の投資効果、緊急性に十分配慮しており賛成

越川 廣司 議員

れた事務事業の執行であった。また、個別事業では、町道02・006号線の財産取得については、沿線に将来的な計画もあり、土地開発基金で購入するなど町の将来を見据えた事業である。子育て支援拠点事業施設用地についても計画的な事業であり、意に沿ったものであることから賛成する。

私は反対です

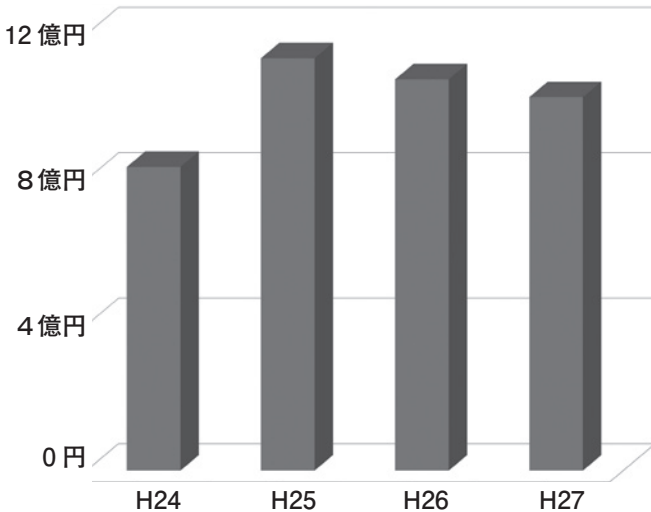
各種施策で議論、説明が不十分であり反対

地福 美枝子 議員

財産の取得、土地の購入、工事契約の変更など不透明な点が多い。また、議決を経っていない案件、道路として必要な土地とも思えない土地の購入、業者に対しても町が責任ある対応ではない事例がある。次に、いまだに町と業者が対立し、建設途中の「青少年交流の家」建設についても十分な論議をせず代替えや方法などに疑問。次に、国

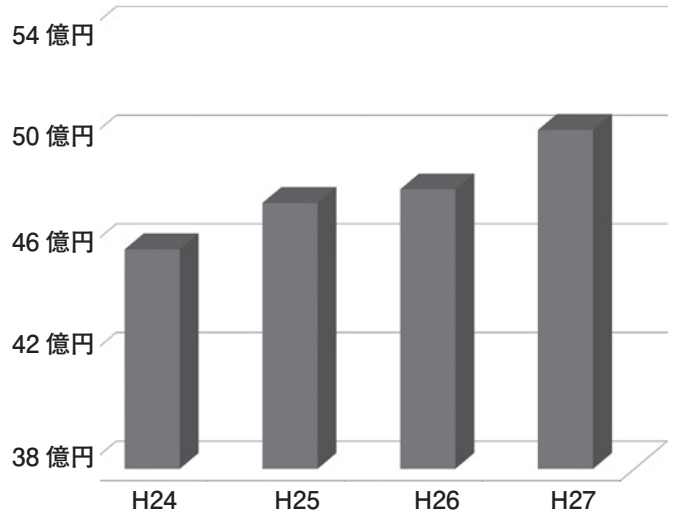
事業のプレミアム付商品券事業は、やり方が不公平、説明が不十分で反省が必要。次に、中学校のグラウンド拡張は優先度を高めて早期整備すべき。次に、福祉や教育に大きく予算配分し負担軽減を。紙おむつをすべての必要な人に、また就学援助の基準を1・3に。次に、すでに設計し議会に出されている事業費を明らかにしない傾向で議会軽視。次に、仕事が増えつつある行政。十分な職員の配置、増員をして町民のサービス向上につなげるべきであり反対。

<財政調整基金（貯金）の推移>



※財政の不足を調整したり、急激な税の落ち込みや災害などに備えるための積立金です。また、財政調整基金以外にも使用目的の決まった基金があります。

<町債（借金）残高の推移>



※町が学校や道路等の整備のために国や金融機関等から長期的に借り入れた資金の残高です。平成27年度末で50億4千800万円の残高がありますが、うち臨時財政対策債分が36億4千万円を占めています。

決算審査特別委員会での意見・要望事項

〔全般的事項〕

○町税の徴収率は、個人町民税をはじめ全般に徴収率が増加しており、成果が認められる。今後も財源確保に努力いただきたい。

〔一般会計〕

○青少年交流の家、子育て支援拠点施設等の各種事業の遂行にあたっては、明確な方針、計画を策定し住民や議会への説明責任を果たし、PDCAサイクルの推進を徹底していただきたい。

○職員研修について、職員の資質向上のため、より多くの職員が受講できるような体制をつくり、研修成果を業務に反映するよう努められたい。

○町ホームページ等を用いて情報提供、情報発信をする際には、多くの方々が簡単に必要な情報を得られるよう工夫をされたい。また、情報公開の範囲を広げるよう努められたい。

○町の魅力づくりとしての観点から、若い世代が町に住みたいと思えるような保育料の設定を検討されたい。

○ふれ愛タクシーについて、高齢化社会に向けた対応として、より機能を充実させ、町民が利用しやすい運用方法に見直しされたい。また、土日運行を含めた検討結果を示されたい。

○中学校の体育館屋根補修およびグラウンド整備については、生徒の安全を確保する観点から、要望も多くあり、早期整備に努められたい。

※上記の意見・要望事項については、極力次年度以降の予算に反映させるよう検討されたい。なお、検討結果については、当初予算説明時に議会に対して説明されたい。



町のお金の使い方を3日間かけ審議しました

<決算審査特別委員会>

委員長 齊藤 博 副委員長 御園生 浩士
委員 濱口 信昭 須藤 伸次 那須 光男 竹尾 忠雄

※PDCAサイクルとは、Plan（計画）Do（実行）Check（評価）Action（改善）を繰り返し、業務を継続的に改善していくことです。

◆議案第2号 平成27年度各種会計決算額◆

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険	介護保健	後期高齢者医療	議決結果
歳入総額	68億6263万4千円	42億9355万1千円	29億4949万5千円	11億5191万7千円	1億9213万9千円	原案可決 (賛成11人 反対4人)
歳出総額	62億2286万4千円	41億8409万3千円	28億5333万円	11億4031万3千円	1億9045万円	

◆議案第3号 平成27年度水道事業会計決算額◆

収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	議決結果
5億8239万5千円	3億8452万5千円	810万5千円	3億8914万3千円	原案可決 (賛成15人 反対0人)

◆議案第4号 平成27年度下水道事業会計決算額◆

収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	議決結果
3億8902万円	3億9711万円	8559万9千円	1億7379万9千円	原案可決 (賛成15人 反対0人)

千葉氏ゆかりの祭りが現代に復活

地方創生加速化交付金を活用し郷土愛の醸成と交流が拡大、事業の継続を期待



千葉氏まつりでは千葉氏ゆかりの地域の方々も仮装行列に参加しました

平成28年9月議会で上程された議案等は次のとおりです。

議案

【議案第1号】
学校給食費の徴収を町が行うよう条例を制定するもの

学校給食費徴収事務を町が行うことに改めるため、条例を制定するもの。
※全員賛成で可決

【議案第2号から議案第4号】
一般会計、各特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の歳入歳出決算認定を求めるもの

※詳細は2ページから5ページをご参照ください。

【議案第5号】
制度改正に伴うものなどにより一般会計を増額

B型肝炎ウイルスワクチンの定期予防接種に伴う費用、酒々井・千葉氏まつり実行委員会補助金、中学校の音楽楽器購入費用、地域子育て支援拠点事業の充実を図るため「あいあいルーム」臨時保育士賃金の増額、飼料用米等拡大支援事業補助金、給食センターによる学校給食費徴収に関する移行・準備費用等により、9600万2千円を増額するもの。



親子の相互交流により不安感等の緩和が期待されるあいあいルーム

【議案第6号】
平成27年度決算により国民健康保険特別会計を増額

平成27年度決算の確定等に伴うもので、国庫償還金の増額、料金改定に伴う郵便料の増額により、1208万5千円を増額するもの。

※全員賛成で可決

<一般会計補正予算額>

補正前	64億9520万5千円
補正額	9600万2千円
合計	65億9120万7千円

<国民健康保険特別会計補正予算額>

補正前	30億3018万4千円
補正額	1208万5千円
合計	30億4226万9千円

※全員賛成で可決

【議案第7号】
平成27年度決算により介護保険特別会計を増額

第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定業務委託に伴う経費、決算の確定等に伴い、1324万4千円を増額するもの。

＜介護保険特別会計補正予算額＞

補正前	12億1012万7千円
補正額	1324万4千円
合計	12億2337万1千円

※全員賛成で可決

【議案第8号】
平成27年度決算により後期高齢者医療特別会計を増額

平成27年度決算の確定に伴い、168万9千円を増額するもの。

＜後期高齢者医療特別会計補正予算額＞

補正前	2億1849万9千円
補正額	168万9千円
合計	2億2018万8千円

※全員賛成で可決

【議案第9号】
過年度損益修正等で水道事業会計を増額

収益的収入は、平成26年度減価却費を過大に計上していたことが判明したため、過年度損益修正に5932万2千円を増額、また、人事異動等に伴い、収益的支出を17万8千円減額、資本的支出を456万8千円増額、職員給与費を439万円増額するもの。

＜水道事業会計補正予算額＞

収益的収入	補正前	5億6792万1千円	収益的支出	補正前	5億5589万4千円	資本的支出	補正前	2億7144万6千円
	補正額	5932万2千円		補正額	△17万8千円		補正額	456万8千円
	合計	6億2724万3千円		合計	5億5571万6千円		合計	2億7601万4千円

※全員賛成で可決

＜下水道事業会計補正予算額＞

収益的支出	補正前	4億4154万4千円	資本的支出	補正前	2億1027万8千円
	補正額	22万7千円		補正額	3424万9千円
	合計	4億4177万1千円		合計	2億4452万7千円

※全員賛成で可決

【議案第10号】
人事異動に伴い下水道事業会計を増額

人事異動等に伴い収益的支出を22万7千円、資本的支出を3424万9千円増額するもの。

議案
に
対
す
る
賛
成
討
論

【議案第1号】

学校、家庭の負担が減り不納欠損額ゼロ円を目指す決意を感じ賛成

御園生 浩士 議員

学校給食費は、受益者負担が原則である。しかし、次の3点のことを考慮し、賛成する。
1 点目は、教職員の授業以外の業務負担が減り、児童・生徒に向き合う時間が増えること。
2 点目は、少額ではあるが、各家庭の金銭的負担が軽減すること。
3 点目は、毎年給食費が完納されず、未収額が増えていること。
これらを考慮し、この新制度のもとで徴収結果を検証することも、必要と思う。また、町職員の不納欠損額ゼロ円を目指す決意を感じるものである。
担当者に給食費未収金ゼロ円をお願いし賛成する。

議員発議

【発議案第1号】 公立保育所を国の直接補助にすることを求めるもの

地方自治体単独で保育園を運営するには、施設の老朽化や保育水準の維持への対応が財政的に困難であるため、公立保育所の一般財源化を廃止し、直接補助制度にすることを求める意見書を国に提出するもの。

※全員賛成で可決



保育の地域格差解消が求められています

【発議案第2号】 保育士の処遇を大幅に改善することを求めるもの

待機児童の解消は施設の問題だけではなく、保育士不足も大きな問題であり、原因として保育士の賃金の低さや労働条件の厳しさがある。保育士不足を解消するため、保育士の処遇を大幅に改善することを求める意見書を国に提出するもの。

※全員賛成で可決

【発議案第3号】 認定こども園整備に国の補助制度を創設することを求めるもの

少子化対策として、安心して仕事と子育てを両立できる環境づくりが必要なことから、幼稚園と保育所機能を併せ持つ認定こども園を整備する必要がある。しかしながら、地方自治体のみで認定こども園の整備を進めることは困難であることから、子ども・子育て支援新制度において、施設整備に国の補助制度を創設することを求める意見

見書を国に提出するもの。
※全員賛成で可決

【発議案第4号】 農業を強化する農業改革を求めるもの

農業を取り巻く環境は、価格の低迷、農業従事者の高齢化や後継者離れが課題となっている中で、農地の荒廃や、耕作放棄地が増加していることから、TPPの批准に合わせ次の点について緊急の対策を講じることを求める意見書を国に提出するもの。

- 1 肥料や農薬など生産資材価格の引き下げを行うこと。
 - 2 農家の収入を穴埋めする収入保険の創設をすること。
 - 3 農産物の輸出1兆円目標に向けた方策をすること。
 - 4 チェックオフ制度の具体化をすること。
 - 5 次世代農業の人材育成をすること。
 - 6 加工食品の原料原産地表示の拡大をすること。
 - 7 地域農業再生のため自由度の高い予算を確保すること。
- ※賛成多数で可決

議	案	に	対
る	反	討	論

【発議案第4号】

TPP批准を前提とした意見書には反対

竹尾 忠雄 議員

最大の問題は「TPP批准に合わせ」である。国会批准を前提の対策では、どんな対策を講じても農業を守ることとはできない。TPPに関する国会決議は関税の撤廃、削減をしないことを求めているが、政府は国会決議に反して、重要5品目29%（170品目）で関税撤廃に合意した。日本は、現在WTOのもと77万トンの米を輸入しているが、TPPで輸入枠がさらに8万トン近く増える。TPPから撤退することが最大の対策である。「農家の収入を穴埋めする収入保険の創設」を要望しているが、過去5年間の収入が基準であり、生産費が基準でないことから生活が成り立たない。価格保障と所得補償を組み合わせた制度を確立することこそ食

報告

【報告第1号】 役場分庁舎建設事業終了に伴うもの

平成26年度から平成27年度までの継続事業として実施した「役場分庁舎建設事業」が終了したことから、地方自治法の規定により報告するもの。

【報告第2号】 財政健全化判断比率、資金不足比率の報告

平成27年度決算に基づく財政健全化判断比率について、監査委員の意見を付けて報告するもの。一般会計、公営企業会計を含む全会計で赤字額はなく、早期健全化の基準値を大きく下回っていることから健全段階にある。

国に意見書を提出

保育関連や農業関連などの意見書を提出



9月定例会で議員から提出された発議案4件がいずれも可決されたことから、町議会は国に対して次のとおり意見書を提出しました。

- ①公立保育所の一般財源化を廃止し、直接補助制度にすることを求める意見書
- ②保育士不足を解消するため、保育士の処遇を大幅に改善することを求める意見書
- ③子ども・子育て支援新制度において、公立認定こども園の施設整備に国の補助制度を創設することを求める意見書



少子化対策として子育て支援を要望



農家の後継者対策として農業改革を要望

④農業を強化する農業改革を推進することを求める意見書

提出先 ①、②、③は内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当（少子化対策）大臣、衆議院議長、参議院議長
④は内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、衆議院議長、参議院議長

選挙

〔佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合議会議員の選挙〕

佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合から、規約変更により当町から1名組合議員を選出するよう依頼があったことから、平成28年9月27日に佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合議会議員の選挙を行った結果、濱口信昭議員が選出されました。



濱口信昭 議員

行政報告

9月定例会初日に、町長から4件の行政報告がありました。ここでは、その抜粋を掲載します。

酒々井町は、3年後の平成31年度に町誕生130年を迎える日本一歴史の古い町です。この歴史ある節目の年を控え千葉県

議員研修会

平成28年8月2日にオークラ千葉ホテルで千葉県町村議会議長会主催による「千葉県町村議会議員研修会」に当町の町議会議員が参加しました。

研修会では、「限界集落を救ったスーパー公務員のチャレンジ」と題して、地方創生アドバイザーの高野誠鮮氏から石川県羽咋市神子原地区で地域を活性化させるまでの奮闘や、新たな農業への取り組みなどを学びました。また、「データと事例で学ぶ千葉の活性化へのシナリオ」と題して、ブランド総合研究所の田中章雄氏から商品の付加価値によりブランド化を図る手法を学びました。



今後のまちづくりに生かしていきます

各常任委員会での 審査結果

◎…委員長
○…副委員長

総務常任委員会

※議会事務局、総務課、企画財政課、
会計課、選挙管理委員会、監査委員
その他の事務についての審査を担当

委員 ◎佐藤／○那須
御園生／内海
江澤／平澤

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第5号	平成28年度酒々井町一般会計補正予算（第2号）委員会担当分野	5	0	原案可決

教育民生常任委員会

※税務住民課、住民協働課、健康福
祉課、教育委員会、固定資産評価
審査委員会についての審査を担当

委員 ◎高崎／○濱口
齊藤／越川
地福

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第1号	酒々井町学校給食費に関する条例の制定について	4	0	原案可決
議案第5号	平成28年度酒々井町一般会計補正予算（第2号）委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第6号	平成28年度酒々井町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	4	0	原案可決
議案第7号	平成28年度酒々井町介護保険特別会計補正予算（第1号）	4	0	原案可決
議案第8号	平成28年度酒々井町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	4	0	原案可決

経済建設常任委員会

※経済環境課、まちづくり課、
上下水道課、農業委員会に
ついての審査を担当

委員 ◎酒瀬川／○須藤
川島／竹尾
小早稲

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第5号	平成28年度酒々井町一般会計補正予算（第2号）委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第9号	平成28年度酒々井町水道事業会計補正予算（第1号）	4	0	原案可決
議案第10号	平成28年度酒々井町下水道事業会計補正予算（第1号）	4	0	原案可決

本会議での 議決結果

議案と議決結果（町長提出のもの）

番号	件名	本会議の採決結果		
		賛成	反対	結果
1	酒々井町学校給食費に関する条例の制定について	15	0	原案可決
2	平成27年度酒々井町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について	11	4	原案認定
3	平成27年度酒々井町水道事業会計決算の認定について	15	0	原案認定
4	平成27年度酒々井町下水道事業会計決算の認定について	15	0	原案認定
5	平成28年度酒々井町一般会計補正予算（第2号）	15	0	原案可決
6	平成28年度酒々井町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	15	0	原案可決
7	平成28年度酒々井町介護保険特別会計補正予算（第1号）	15	0	原案可決
8	平成28年度酒々井町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	15	0	原案可決
9	平成28年度酒々井町水道事業会計補正予算（第1号）	15	0	原案可決
10	平成28年度酒々井町下水道事業会計補正予算（第1号）	15	0	原案可決

発議案と議決結果（議員提出のもの）

番号	件名	提出者	本会議の採決結果		
			賛成	反対	結果
1	公立保育所の一般財源化を廃止し、直接補助制度にすることを求める意見書の提出について	酒瀬川 健一議員 他3名	15	0	原案可決
2	保育士不足を解消するため、保育士の処遇を大幅に改善することを求める意見書の提出について	小早稲 賢一議員 他2名	15	0	原案可決
3	子ども・子育て支援新制度において、公立認定こども園の施設整備に国の補助制度を創設することを求める意見書の提出について	平澤 昭敏議員 他3名	15	0	原案可決
4	農業を強化する農業改革を推進することを求める意見書の提出について	高崎 長雄議員 他2名	11	4	原案可決

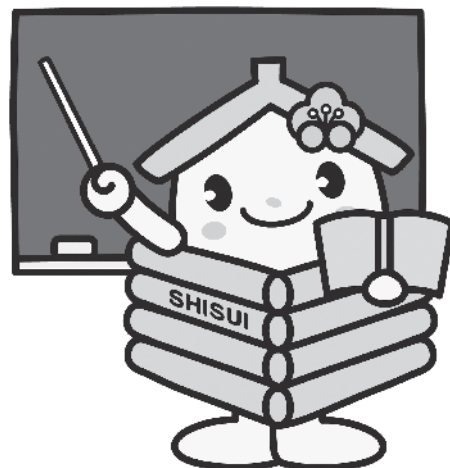
ここが聞きたい

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。

9月定例会の一般質問は、13日と14日の2日間に10名の議員が経済化対策、福祉施策、防犯防災対策など行政全般にわたり今後の対応策などについて、活発な質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町図書館（プリミール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、町のホームページからもご覧いただけます。9月定例会の会議録は、12月上旬以降、閲覧することができます。



酒々井町マスコットキャラクター
井戸っこ（しすいちゃん）

No.1 御園生 浩士 議員・・・P 13

- 1 青少年交流の家について
- 2 乗り上げブロックについて
- 3 徴収業務について

No.2 那須 光男 議員・・・P 13

- 1 青少年交流の家の工事について
- 2 保育士の待遇改善について
- 3 新中川橋周辺の生活道路の改善と排水路の清掃について
- 4 上野作歩道橋のグリーンベルトの有効活用について
- 5 電子入札結果公表について

No.3 平澤 昭敏 議員・・・P 14

- 1 老人福祉大会について
- 2 J R、京成酒々井駅前に障がい者用乗降スペースの確保について
- 3 検診の受診率アップについて
- 4 大丈夫シール、避難所運営ガイドラインについて

No.4 濱口 信昭 議員・・・P 14

- 1 岩橋保育園を中心とした一貫した子育て支援拠点について
- 2 空き家を活用したまちづくりについて
- 3 ハザードマップについて

No.5 齊藤 博 議員・・・P 15

- 1 介護施策について
- 2 町道02-006号線道路改良事業について
- 3 青少年交流の家の整備について

No.6 川島 邦彦 議員・・・P 15

- 1 第5次総合計画（後期）について

No.7 佐藤 修二 議員・・・P 16

- 1 防災拠点としての中央台公園の排水工事及び不陸整正工事について
- 2 中川治水事業調節池計画と隣接町道02-006号線に東酒々井はつらつ東通りを接続する道路網の構築について
- 3 ICアクセス道路の状況について

No.8 須藤 伸次 議員・・・P 16

- 1 学校給食費の徴収方法と給食費の補助、減額について
- 2 子育て支援事業について
- 3 酒々井町歴史博物館の建設について

No.9 竹尾 忠雄 議員・・・P 17

- 1 台風被害について
- 2 財産の取得について
- 3 町道02-006号線道路改良事業と合わせて行う調節池について
- 4 社会資本整備総合交付金の平成28年度事業内容と計画について
- 5 東酒々井第2土地区画整理について

No.10 地福 美枝子 議員・・・P 17

- 1 介護保険の現状について
- 2 子育て支援について
- 3 学校給食費について
- 4 高校の奨学資金補助について
- 5 中学校のグラウンド拡張について
- 6 青少年交流の家について

問

乗り上げブロック設置者は法令違反か

答

道路法により禁止行為が定められており罰金等も定められている

問 乗り上げブロック設置者は、各法令の何条何項に違反し、どのような罰があるのか伺う。

副町長 道路法第43条第1項第2号で禁止行為として定められている。また、道路法第102条で1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処すると定められている。今後は、広報等において注意喚起を検討していく。



道路に置かれた乗り上げブロック

道路占用料に関する督促手数料を
実情に即した金額に変更すべき

問 酒々井町道路占用料に関する条例第6条第2項で督促手数料の額は、督促状1通につき20円とする。とあるが実情に即した金額に条例変更すべきと思うが、町の考えを伺う。



御園生 浩士 議員

まちづくり課長 手数料の根拠については、当条例を制定した頃の通常郵便葉書の料金とされるので、近隣市町の状況を踏まえ研究していきたい。

徴収業務における不納欠損額と件数は

問 町税をはじめ給食費等の徴収業務について、過去5年の不納欠損額と延べ件数を伺う。

健康福祉課長 町民税は4303万7695円で712件。固定資産税は、3569万4796円で453件。都市計画税は、320万8504円で453件。国民健康保険税は、1億3496万8366円で1266件。軽自動車税は、278万2700円で330件である。

健康福祉課長 介護保険料は、167万5550円で598件である。
こども課長 保育料は、342万4500円で32件である。
上下水道課長 上下水道使用料は28万2354円で780件である。
学校教育課長 給食費は128万2660円で12件である。

問

青少年交流センター建設工事問題
工事の仕様書は町が作成したのか

答

工事の仕様書を含めた設計書を町が作成し契約書にも添付した

問 青少年交流センターの建設がストップしているが次の点について伺う。

- ① 工事の仕様書を作成したのか
- ② 作成したとすれば請負業者になぜ提示しなかったのかその理由を
- ③ 町道に接続する接道用階段通路についての工事内容が契約時に含まれていたのか否かを
- ④ 含まれていたとすれば、工事の種類と費用を
- ⑤ 階段通路幅を60cmとした理由を
- ⑥ 階段を利用する青少年に傷害が発生するとの危惧が、2月の段階で町民から指摘されてきたが、どのような改善策をいつの時点で作成し、工事の変更を業者に申し入れたのはいつなのか。
- ⑦ 本年6月議会初日に竹尾議員から「町には何ら非はないのか」との質問に対して生涯学習課長は「これに関しては答弁を差し控えています」と答



建設が中断している青少年交流の家



那須 光男 議員

弁していました。ところが、3月25日という工期が過ぎても完成しないため、町長は3月31日に契約解除通知を相手方に郵送しました。工期をそれなりに延長して一刻も早く完成させようとしなかったのか、その理由を町長お答えください。

生涯学習課長 ①、②工事の仕様書を含めた設計書を入札時に提示し、契約書にも添付している。

- ③ 契約時の設計書に記載されている。
- ④ 外構工事に入っている。
- ⑤ 建築基準法の接道要件の60cmとした。
- ⑥ 歩道側から見えにくいとの意見があり、改良を検討しているが、現在は施工業者の持ち物となっているため手が出せない。
- 町長 ⑦ 施工業者から1月に500万円の増額要求があり、説明を求めたが、増額理由等が示されず正常な契約関係が維持できない状況にある。町は出来高精算に備え、予算の繰り越しを行っているが、施工業者からの申し入れは契約額を上回る金銭の要求のみである。

問

災害時に真に機能する取り組みは

答

各種団体に必要な情報を発信し
避難所運営マニュアルを作成する



平澤 昭敏議員

問 「大丈夫シール」の作成、配布と災害時に真に機能する避難所を作るための「避難所運営ガイドライン」について伺う。

5月に職員向けの「災害時等の避難所運営マニュアル 初期初動編」を作成したところであり、今後は、長期にわたる避難所運営についてのマニュアルを作成することとしており、災害時における要配慮者への対応も含めたものを作成する。

総務課長 大丈夫シールなどを活用する取り組みについては、すでに行っている町内の自治会や自主防災組織もあり、さらに浸透できるように必要な情報を発信していきたい。また「避難所運営ガイドライン」については、本年

検診率を上げる取り組みは

問 個人の健康管理のための検診率が20%から30%と低いのが、受診率アップの対策について町の考えを伺う。

健康福祉課長 町では、自治会への回覧やポスターの掲示、また、幼児検診の通知にがん検診のチラシを同封、さらに検診時に健康教育を実施し、がん検診の大切さや継続受診の必要性を勧めるなど、検診の周知を図るとともに、節目の年齢の方には、クーポン券を発行し、無料で受診していただいている。受診率のアップについては、個別検診による対応や、いくつかの検診を同日に実施するなど、住民のニーズに合った受診しやすい検診方法を検討することも必要であると考えている。



問

子育て支援拠点に健康福祉系支援を含めない理由は

答

保健センターと新しい子育て支援施設が十分な連携を心がける



濱口 信昭議員

問 岩橋保育園のそばに新設予定の子育て支援拠点について次の点を伺う。
① 他の自治体で取り組まれているような、妊娠期から就学まで、母子保健型利用者支援事業等の健康福祉系支援を含め一貫して実施する施設としないのは、何か理由があるのか。

こども課長 ① 母子手帳の交付から小学校就学時までの専門的な支援については、一貫して保健センターで実施しており、事業実施にあたっては、保健センターと新しい子育て支援施設が十分な連携を心がけ、活動していきたい。

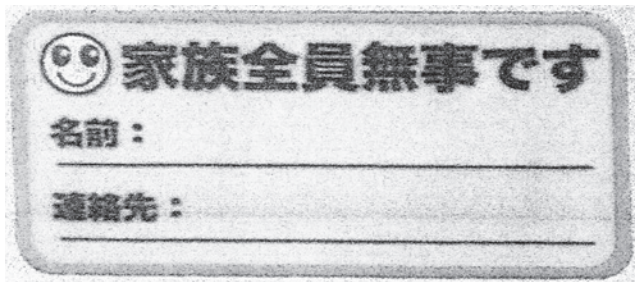
② 平成25年度に実施した「酒々井町子ども・子育て支援に関するニーズ調査」の結果を参考に検討してきた。
副町長 ③ 濱口議員のご質問を意見として承ります。

空き家バンクの計画は

問 3月議会で報告のあった空き家の実態調査の結果を踏まえて、空き家を活用したまちづくり等の具体的施策について伺う。特に、空き家バンクの展開計画について伺う。

副町長 町内の空き家調査の結果から、町の状況に沿った空き家バンクの設置など効果的な対策が必要であり、今後、持ち主の意向調査、庁内各課との調整を行うとともに、今年度空き家バンクの事業化が図れるよう検討する。

子育て支援の充実により若い世帯が住みやすいまちづくりが期待されます
② 健康福祉系利用者支援事業を別の施設に分離して実施する現在の計画について、利用者の意見は反映されているのか。
③ 本件に関する町長、副町長の意見は如何か。



東酒々井6丁目のアイビネオハイツでは大丈夫シールの掲示訓練なども自主的に行っています

問 介護サービスが新総合事業に移行しても現状を維持すべき

答 従来のサービスを維持したまま移行する方向で準備をしている



齊藤 博 議員

問 ① 要支援者へのホームヘルプサービスとデイサービスが各市町村の事業として平成29年度から実施されず。両サービスは要支援サービス全体の6割を占めているサービスであり、大事なサービスです。最低限、対象者、サービス内容、自己負担額等は「現行水準を維持すべき」と考えるが、町の基本方針を伺う。

② 今回の制度改正で町の財政負担はどのようになるかと想定されているか。

③ 介護保険給付費準備基金の残高は2億3600万円、65歳以上の方からの介護保険料は約2億9000万円である。累積額を活用して平成29年度の介護保険料の引き下げができないのか。

健康福祉課長 ① 町では従来のサービス基準を維持したまま移行する方向で準備を進めている。

② 総合事業に対する国、県からの交付対象の上限内であれば町の負担は変わらない。

③ 基金の残高を考慮しながら、第7期酒々井町高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画を作成していきたい。



国道51号と国道296号をつなぐにはJRの線路を通過する必要があります
※写真は殿部田踏切

問 国道51号と296号をつなぐ町道と調節池建設の事業計画の詳細は

問 町道02・006号線改良事業について、本事業はJR線を横断して国道296号と国道51号を結ぶ道路を新設し、併せて中川調節池も整備する計画とのことだが、少なくとも20億円を超える大規模な事業になると思われるので事業計画、完了年度、総事業費や財源内訳を明確にいただきたい。

副町長 JR線の交差部が高架にするのか地下方式にするのか、これから検討していかなければならない状況にあり、現時点では完了年度や総事業費も合わせて申し上げることができない。

問 交流人口増加に対応する計画は

答 各種取り組みを町全体で戦略的に施策展開していきたい



川島 邦彦 議員

問 ① 第5次総合計画（前期）の大きな目標であった酒々井インターチェンジの開設が実現し、交流人口が飛躍的に増加した。そこで、特に交流人口の増加等に対応する向こう5年間（後期）の計画を伺う。

② 都市計画マスタープランで示された24路線の道路整備について、優先順位とその考えを伺う。また、観光用駐車場の整備が必要ではないか。

③ 地域資源を活用した観光ネットワークづくりの計画で拠点整備、Wi-Fi設置、レンタサイクル事業の充実、特産品・土産品販売や休憩所などについて考えを伺う。

④ 本佐倉城は観光資源の中心的役割を担うとともに町民の歴史認識を高める存在にしなければならないと考えられる。そこで、後期の整備計画を伺う。

なお、向根古谷の保存地域指定の考えについても併せて伺う。また、有料ガイド育成等を取り組んでいるが、観光事業について今後の行動計画を伺う。

町長 ① 今後ますます進む少子高齢化社会への対応が重要な施策であると

認識しており、交流人口の増加に向けた各種取り組みを町全体で戦略的に施策展開していきたいと考えている。

まちづくり課長 ② 24路線のうち未整備のものが10路線、10路線のうち優先度が高いと思われる2路線については、事業に着手した。駐車場については、中心市街地には必要との考えも基本計画策定時には出てくると考えている。

経済環境課長 ③ 無料Wi-Fiは、設置場所を含め検討を進めていく。レンタサイクルは、レンタサイクルの会を支援し、モデルコースを検討していく。また、特産品等は拠点施設を併せて検討していく。

生涯学習課長 ④ 現在、トイレ、管理詰所等の便益施設の整備を進めており、積極的な交流人口の増加、観光資源の中心的役割を果たしていきたい。また、向根古谷は指定地拡大について、関係者と協議を進めていく。ガイドについては、酒々井ふるさとガイドの会を今後も支援し、有料化も含めた検討を行っていききたいと考えている。

問

計画されている調節池の規模をゲリラ豪雨に備えて拡大すべき

答

異常降雨が多い状況にあり超過洪水対策も踏まえ検討する



佐藤 修二議員

問 ① 計画検討された中川調節池は過去77ミリのゲリラ豪雨による水害を参考に規模は考えられ、面積は3ヘクタール、調節池の容量は5万立米（約5万トン）で計画検討されているが、最近全国各地で発生するゲリラ豪雨は100ミリの雨量も珍しくなく、調節池全体の面積および容量を拡大すべきと思うが考えを伺う。

② 中川調節池は位置的に駅に近く近接には中心市街地もある。また、隣接には医療機関進出の話も聞かれており、単なる草が繁茂している調節池ではなく、自主的な維持管理ができ、多くの人々が楽しめる親水公園としての調節池計画にすべきと思うが見解を伺う。

③ 町道02・006号線は将来的に国道51号と国道296号を結ぶ町道の主要な道路網になると思う。道路の新設や築造は地域開発の先導役とも言われるがこの町道02・006号線に東酒々井1丁目で行き止まりとなっている「はつらつ東通り」を調節池の脇を通って接続する道路の新設築造を検討すべきと思うが町の見解を伺う。

また、この道路は緊急時の消防車や救急車の迅速性に寄与でき、将来的に中川踏切の渋滞解消につながると思うが見解を伺う。

町長 ① 最近の降雨状況は異常降雨が多い状況にあるので、超過洪水対策も踏まえ現在検討している。また、JRから国道51号の間に病院の開設計画があり、その調節池も中川流域の洪水処理計画に含めることも必要と考えており、異常降雨時には超過流量を分担させる構造仕様にするなど、今後、事業者と協議したいと考えている。

② 調節池を将来的に多くの人が楽しめる親水公園にすることについては、「中川流域水循環系再生計画策定委員会」の提言書の中で町民の憩いの場として活用を図るよう提言されているので、町民に親しまれる調整池を具体化とすることは必要と考えている。

③ 町道02・006号線に東酒々井駅前通りからの「はつらつ東通り」を接続することについては、ご質問のとおり、具体化することは必要なことと考えている。

問

酒々井町歴史博物館を建設し町の歴史の深さを周知すべき

答

場所や財政負担を視野に含め総合的な検討を行っていく



須藤 伸次議員

問 町は3年後の平成31年には町制130周年を迎え、「日本一古い町」と聞いている。今後、永続を願う一町民として、町の歴史の深さをより多くの方々に知っていただくため「酒々井町歴史博物館」の建設を提案するが町の考えを伺う。

生涯学習課長 今後、町の顔づくり推進事業の一環として文化財の展示や町を紹介する交流支援拠点を含めたマスタープランの作成を行っていくので、その中で場所や財政負担を視野に含めた総合的な検討を行っていく。

学校給食費の徴収方法の変更と補助、減額を検討すべき

問 学校給食費は現在、学校職員が通常業務以外で徴収していると聞いているが、学校職員には本来の教育業務に専念し、生徒の学力・体力アップに努めてほしい。また、同時に給食費の補助、減額を検討してもらいたい徴収率がさらに向上し、保護者の負担軽減、少子化対策にもなると思うが見解を伺う。

教育長 給食費の徴収方法については、

子育て支援策の全体像が確認できるパンフレットを作成し周知すべき

問 町で子育て支援事業が色々行われているのは承知しているが、支援の切れ目ない一連の流れを確認するものがなく、わかりにくい。そこで町民に対して出産から子育てまでの全過程に対する「酒々井町版ネウボラ」などの子育て支援策の全体像をわかりやすく示したパンフレットを作成すべきと思うが見解を伺う。

こども課長 昨年度に「しすいまち子育て支援ハンドブック」を作成し、こども課窓口に配置しているほか、保健センターで妊娠届出時、乳児相談時、幼児健診時に配布しているので、このハンドブックを広報等で周知していく。

問

町は「財産取得」をしたのであれば、売り主に境界確定を求めるべき

答

交付金事業に乗せて用地測量を行い境界を明確にしていく



竹尾 忠雄議員

問 ① 町は「財産取得」したのであれば土地の境界を確定し、財産を保全するのとは当然である。不動産会社に境界の確定を求めないのか伺う。

② 3月議会で「現在の道路の左右のところで人手に渡ってしまうと今後の事業に支障を来す」との答弁でした。上岩橋1390番1は「道路の左右」に接続していないので、土地の取得は議会と町民に虚偽の答弁をしたのではないかと答えてください。

企画財政課長 ① 交付金事業に乗せて実施設計を行い、用地測量を行ったうえで境界を明確にしていきたい。

② 上岩橋1390番1は、一緒に購入した1453番1と接しており、一団の土地である。

調節池用地購入費の財源見通しは

問 調節池の用地購入費は今年度予算で5040万円でしたが、財源の見通しを伺う。

まちづくり課長 社会資本整備総合交付金を見込んでいたが、交付決定額が申請額を大幅に下回った。

区画整理組合設立について町の見解を

問 上郷地区関係者に「区画整理事業を立ち上げることに決定した」との文書が通知されましたが、町は事業計画について協議をしているのか。また、この事業に対する町の考えを伺う。

まちづくり課長 事業者と一度も協議しておらず、町の考えを答えられない。

台風被害の状況と今後の対応は

問 ① 町全体の被害状況を伺う。

② 強風による倒木等の被害が発生したが、今後、通学路の安全確保についての対応を伺う。

総務課長 ① 把握している状況は、住宅等の被害が5棟、倒木による通行止め7か所、土砂崩れによる通行止め1か所、地盤の緩みによる道路崩壊1件、停電約55世帯、農業用パイプハウスの全壊1棟、一部破損1棟、梨の3割が強風で落下が2件、また、町有施設も強風により屋根などの破損があった。

② 台風通過後には、安全に登下校ができるように関係課と対応していく。

問

介護1、介護2での特養入所希望者がゼロ人になった理由は

答

要件を満たす希望者がいなかった



地福 美枝子議員

問 ① 介護1と2の特別養護老人ホーム入所希望者が0人になった理由は。

② 来年(平成29年)からの新総合事業とはどのような事業か。

健康福祉課長 ① 今年の1月1日現在、要件を満たす希望者がいなかった。

② 全国一律のサービスであった介護予防訪問介護、介護予防通所介護を町で実施することになる。

就学援助の充実を図るべきでは

問 ① 国の「子どもの貧困対策法」が施行された。町は策定しないのか。

② 就学援助について、町の援助額を1.0ではなく1.3に引き上げること、民生委員の面談をなくすこと、援助項目を増やすことなどの充実をすべき。また、制度をわかりやすい内容で広報に掲載し周知の充実を図るべき。

健康福祉課長 ① 今後も国等の動向を注視し、各種支援が図れるよう関係課との連携に努めていく。

学校教育課長 ② 所得指数は妥当であると捉えている。民生委員による面接等は事務上貴重な情報となり、今後

も有効に活用していく。また、周知は入学説明会時に資料の配布、説明をし、学校便り3月号にも掲載している。

高校の就学資金補助の改正を

問 経済的に困難な世帯に、月5000円の補助をしているが、成績優秀・品行方正・健康という条件は外すべきではないか。

こども課長 国、県による教育費の負担が軽減されている状況を踏まえ、効果的な支援について、研究していく。

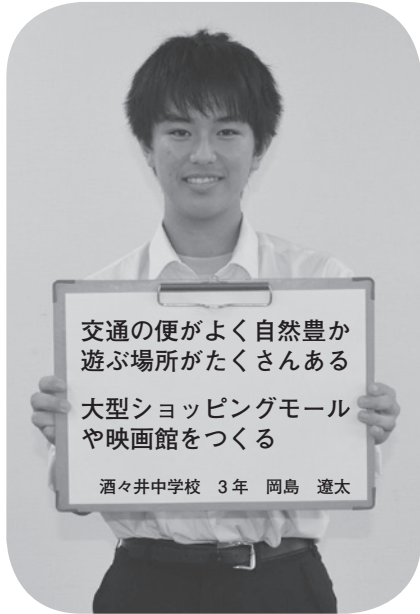
中学校グラウンド拡張の進捗状況は

町長 昨年、用地の一部を購入し、現在、基本設計の準備を進めている。

町が青少年交流の家の仕様書を作成か

問 当初の書類、仕様書は町が作成したのか。存在するのか。また、今後この場所で継続するのか。

生涯学習課長 工事の仕様書を含めた設計書を入札時に提示し、契約書に添付している。また、現時点では他の場所は考えていない。



交通の便がよく自然豊か
遊ぶ場所がたくさんある

大型ショッピングモール
や映画館をつくる

酒々井中学校 3年 岡島 遼太

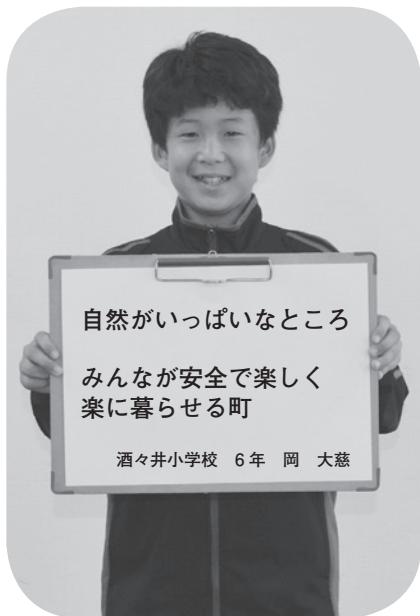
小学生・中学生議員に**聞**いてみた

町のどのような

ところが**好き**？

議員になったら

どんな**町**にしたい？



自然がいっぱいなところ

みんなが安全で楽しく
楽に暮らせる町

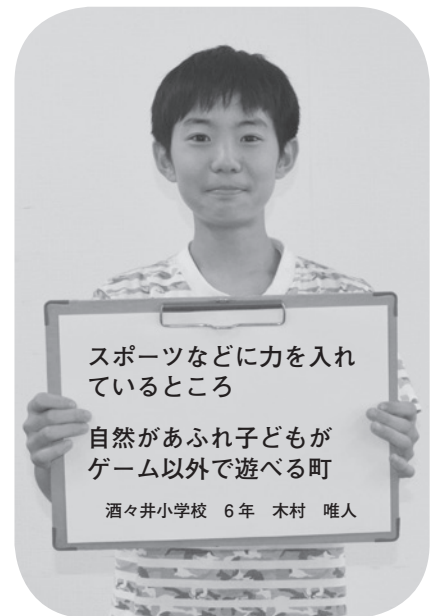
酒々井小学校 6年 岡 大慈



自然豊かで楽しめる施設
や行事があるところ

安心で安全な便利な町

酒々井小学校 6年 片山 光太郎



スポーツなどに力を入れ
ているところ

自然があふれ子どもが
ゲーム以外で遊べる町

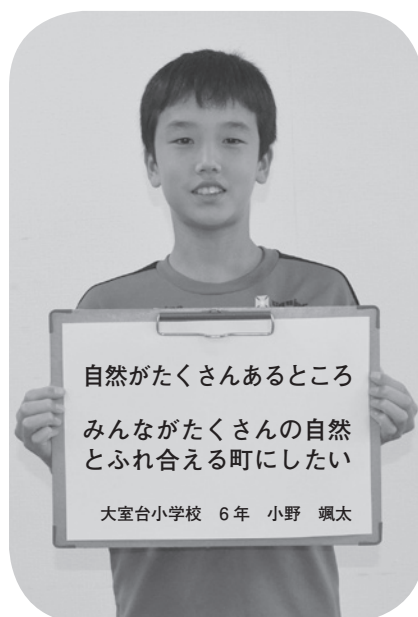
酒々井小学校 6年 木村 唯人



身近な自然とアウトレット

タクシーを増やし便利に、
木を植え空気をキレイに

大室台小学校 6年 澤田 聖乃



自然がたくさんあるところ

みんながたくさん自然
とふれ合える町にしたい

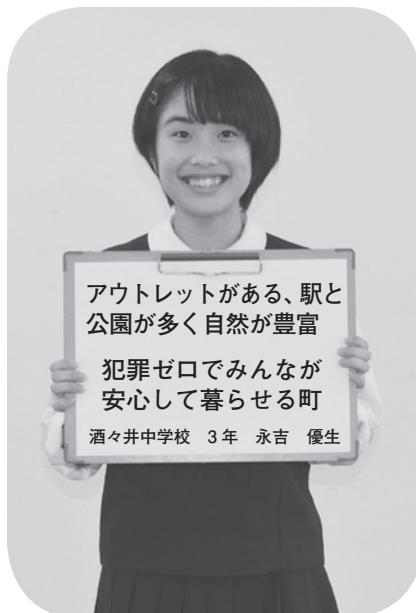
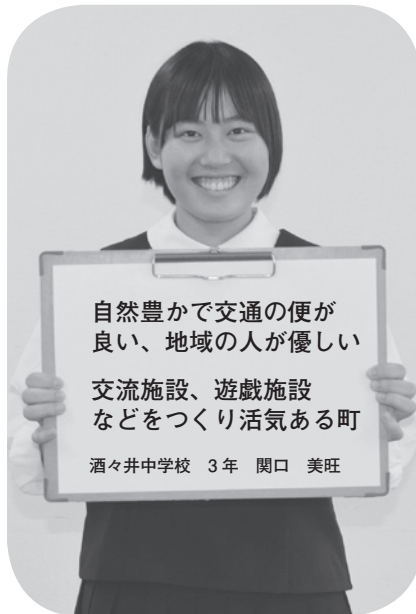
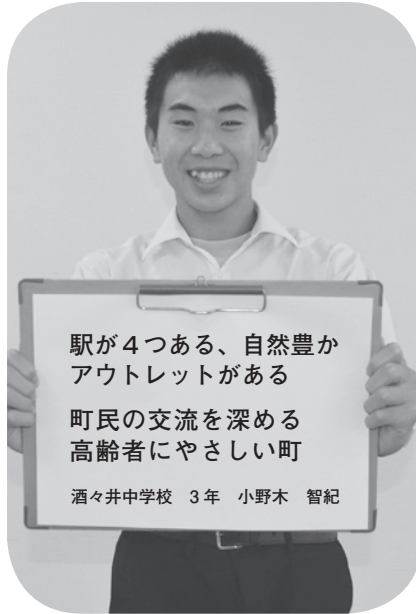
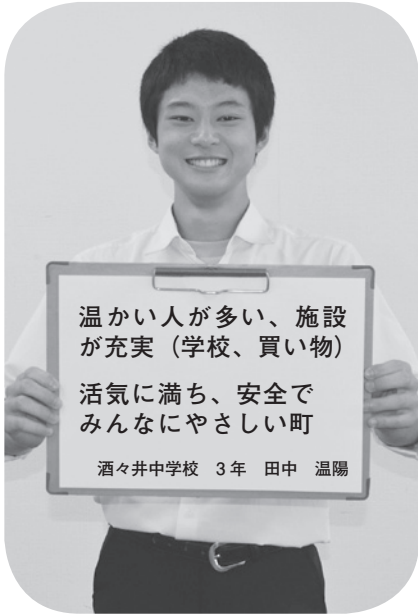
大室台小学校 6年 小野 颯太



自然豊かで望まれている
施設が増えていること

高齢者の負担がなく
自然豊かできれいな町

大室台小学校 6年 柏葉 美緒



小・中学生議員が町長に

質問

地域活性化や安全対策などの普段感じていることを15人の子どもたちが質問・提案



模擬議会終了後は和やかなムードに



登壇席から自分の意見をしっかりと発言

子ども模擬議会が10月19日に酒々井町議場で開催され、酒々井小学校、大室台小学校、酒々井中学校の各代表者16人が参加しました。

昨年までは中学生模擬議会として開催されていましたが、今年は小学生も参加。当日は、議長以外の15人が町政に対して普

段感じていることや疑問に思っていることを質問しました。

模擬議会の最後には、議長を務めた岡島遼太さんから「町を良くするためにたくさんの方が尽力していることが分かった。町の未来のために、今できることを精一杯頑張りたい」とあいさつがありました。

<小・中学生議員質問一覧>

- ① 岡 大慈 (酒々井小 6年)
観光客をさらに誘致するための方策について
- ② 片山 光太郎 (酒々井小 6年)
若者を中心にさらに町を盛り上げる方策について
- ③ 木村 唯人 (酒々井小 6年)
町の税収を増やす方策について
- ④ 澤田 聖乃 (大室台小 6年)
災害時の対策や災害時の備えについて
- ⑤ 小野 颯太 (大室台小 6年)
公園の雨宿りスペースの設置について
- ⑥ 柏葉 美緒 (大室台小 6年)
酒々井町の道路(白線修正)について
- ⑦ 伊藤 侑世 (酒々井中 3年)
成年後見制度について
- ⑧ 松本 和樹 (酒々井中 3年)
酒々井町の文化財について
- ⑨ 小野木 智紀 (酒々井中 3年)
東酒々井入口信号について
- ⑩ 田中 温陽 (酒々井中 3年)
町バスの活用について
- ⑪ 永吉 優生 (酒々井中 3年)
酒々井中学校体育館、修学館の設備について
- ⑫ 中井 春花 (酒々井中 3年)
歩道の雑草について
- ⑬ 寺園 真奈 (酒々井中 3年)
公園の遊具について
- ⑭ 柳原 あかり (酒々井中 3年)
酒々井コミュニケーションセンターでの物品販売について
- ⑮ 関口 美旺 (酒々井中 3年)
循環バスの運営について

12月定例会のお知らせ

次の定例会は、12月上旬に開会する予定となっております。会期の概要は、11月29日に開催予定の議会運営委員会で決まります。会期の概要が決まりましたら、町議会のホームページやポスターでお知らせします。

また、本会議は、一般に公開され、傍聴することができ、傍聴席の定数は25名となっております。なお、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

☎ 496・1171
(内線251、252)

編集にあたって

今号は、定例会終了後、通常より2週間早く約1か月で発行しました。また、決算や子ども議会など紙面の充実に努めました。今後も見やすい紙面づくりを目指していきます。

委員長 酒瀬川健一
副委員長 川島 邦彦
委員 濱口 信昭
委員 齊藤 博
委員 江澤 真一
委員 平澤 昭敏